
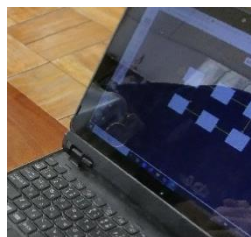


- (1) ねらい 教師や仲間の作品を鑑賞したり、自分の願いや思いとモチーフ等を繋げたりする活動を通して、主題を生み出し、モチーフの組み合わせや構成の効果に気付き、主題に迫るアイディアスケッチをすることができる。
- (2) 評価規準
- ・感情やイメージなどの心の世界を基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。【発想や構想】(思考力・判断力・表現力)
 - ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。【鑑賞】(思考力・判断力・表現力)
- (3) 学習展開 (6/16)

| 過程 | 学習活動 | 教師の指導・援助(留意点) |
|----|---|---|
| 導入 | <p>1 前時までの活動を振り返り、本時の課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の部活動のバスケットボールを要素として取り入れたい。コートか、ボールか、試合中の自分を、どうやって描こうかな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活等を基にマッピングの活動を通して、主題を生み出すことができるようにする。 ・主題を基に本時追求する造形的な要素(モチーフの組み合わせ、大きさや位置など)を整理する。 |
| 展開 | <p>モチーフの組み合わせ、大きさや位置などを工夫して、主題に迫るアイディアスケッチをしよう。</p> <p>2 教師や先輩の作品を鑑賞し、構図の工夫できるポイント(モチーフの組み合わせ、大きさ、位置など)を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフの大きさや位置をかえるだけでかなり印象が変わるな。 | <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形的な要素(モチーフの組み合わせ、大きさ、位置など)のポイントが分かるヒントカードを資料箱に準備し、生徒がいつでも鑑賞ができるようにする。 |
| | <p>3 学習グループで自分が追求しようとする内容を伝え合い、本時行う活動を交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケのボール、コートや自分の大きさや位置を変えたアイディアスケッチをいくつか描いてみよう。 | |
| 終末 | <p>4 アイディアスケッチをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフは亀と階段で表現したいな。手前の亀は大きく、後ろの亀を小さく描くことで奥行きを出し、一点透視図法の階段を取り入れて目標に向かって努力している気持ちが表現したい。 ・部活動のテニスをコートで表現しよう。奥の小さいコートはネガティブ、手前の大きいコートはポジティブな感情にしたいな。コートの向きは縦と横、どちらがより合うかな。  | <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフや構図を選んだ理由を問いかけ、より主題に迫るアイディアを練ることができるようにする。 ・造形的な要素を効果的に工夫しながらアイディアスケッチできている生徒を紹介する。 |
| | <p>5 本時の制作を振り返り、次時への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術が好きな気持ちを前の時間はキャンバスに好きなものを並べて表現していたのだけれど、今日はキャンバスの前にモチーフを重ねて描いてみた。そしたら、飛び出したような勢いが出てきた。今度は、もう少しモチーフの大きさや位置を変えて、もっと楽しい感じを表したい。 ・Aさんの作品は一つの画面の中に、大きい音符を少し描いた画面と、小さい音符をたくさん描いた画面の二つが描かれていて、どちらも魅力的で面白い。こういう2画面で表現するのも面白い。  | <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が前時と本時の作品を大型提示装置に投影し、比較しながら表現意図を説明する。 <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートで前時の作品画像と本時の作品を比較しながら[共通事項]の視点で振り返る。 <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートで作品を共有し、仲間の作品をいつでも鑑賞できるようにする。 |

【検証：期待される学習効果】

- ・色を塗り重ねることで、前時との変化が分からなくなっていたが、授業の最後にタブレットを使って作品の写真を撮り、ロイロノートに入れることで、自分の学びの足跡が確認でき、自己の変容の自覚につながった。
- ・作品の写真を共有し、自分の作品と比較できるようにすることで、自分のよさを確かめたり、仲間のよさを自分の作品に取り入れられることができる。